

令和7年度都立足立西高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	「書くこと」の指導の充実 「話すこと・聞くこと」の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導計画について共有、指導事項について確認 ・校内の短歌コンテストの開催 ・「話し合うこと」の指導に関する言語活動に関する科内研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会に向けたプレゼンテーション・コンテストの実施 ・大学等主催の小論文・詩歌コンテストへの応募 ・オンライン活用時の「話し合うこと」についての指導方法の開発
地歴公民	社会の諸問題を探究する力	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストや考査試験をとおして知識を定着させる ・授業をとおして社会の諸課題を自分の事として捉える力を育む 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける
数学	数学的な見方考え方を働かせた数学的活動	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学的に捉え、数学の問題を見いだせる教材の開発 ・問題解決の過程において、論理的に考察する活動を重視した授業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度の評価を取り入れた授業の実施
理科	理科の見方考え方を働かせ、科学的に探究するために必要な資質・能力を育成	<ul style="list-style-type: none"> ・知識の定着を図る小テストを実施 ・観察・実験を通して思考力・判断力を育む ・身近な事物・現象と関連付けた授業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察・実験を通して身につけた探究に必要な資質・能力を活かし、「総合的な探究の時間」等他教科への教科横断的な活用について指導
保健体育	運動技能の向上を目指し、課題解決能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・4月の教科会で年間指導について共有、種目や指導事項について確認。 ・学習カードでの振り返りの実施。 ・柔道、剣道、ダンスの中から1種目を選択し、2年間継続した授業を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードで活字を用いて課題を明確にすることで、分析、改善、実施、の手立てとさせる。 ・2年間の継続した指導により、技能向上及び種目への理解を深めさせる。
芸術	「鑑賞」の充実及び課題解決能力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・各単元の導入において、協働的に題材を鑑賞する活動を取り入れ、学習カードにまとめる。 ・各単元において学習カードでの振り返りの実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードで活字を用いて課題を明確にすることで、分析、改善、実施、の手立てとさせる。
家庭	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う	<ul style="list-style-type: none"> ・観察を通して思考力判断力を育む。 ・生活課題を見つけ、解決策を構想実践考察する。 ・身の回りにある事物、現象と関連付けた授業を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察を通して身に付けた思考力判断力を活かし、ホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動等について指導する。
英語	4技能5分野「読むこと」「書くこと」「聞くこと」「話すこと」(やり取り)、「話すこと」(発表)の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・単語力、文法力を高める ・ペーパーテストだけでなく、パフォーマンステストも導入し多様な評価を行う ・JETやALTとのTT授業を増やし、英語を使う環境を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・学年全体の取り組みとして、英検受験者を増やす。 ・オンライン英会話を利用していく。
情報	課題解決型実習の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書選定時に課題解決型実習を多く掲載しているものを選定 ・情報Ⅰ各単元において、グループ(協働学習)による探究的な実習やTeamsでの共同作業を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏期講習において、2026年度共通テスト対策を実施 ・プログラミング学習において、自主的に取り組める民間補助教材を導入